

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	バーチャルリアリティ特論		
英文授業科目名	Advanced Topics in Virtual Reality		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-知能機械工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	知能機械工学専攻		
担当教官名	稲見 昌彦		
居室	東4-603		

公開E-Mail	授業関連Webページ
inami@mce.uec.ac.jp	<a href="http://www.hi.mce.uec.ac.jp/inami-lab/">http://www.hi.mce.uec.ac.jp/inami-lab/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>バーチャルリアリティとは何か，その効果は？バーチャルリアリティ技術の基本原則，応用例，将来像を豊富な事例を踏まえつつ，わかりやすく解説する．</p> <p>後半は各自考案したオリジナルなVRシステムについてディスカッション形式の授業を行う．</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
<p>特に無いが参考書として</p> <p>舘 すすむ(日へんに章)著，バーチャルリアリティ入門，ちくま新書</p> <p>広瀬 通孝，バーチャル・リアリティって何だろう？仮想と現実のあいだ，ダイヤモンド社</p> <p>等を推奨する．</p>

【授業内容とその進め方】

基本的に以下の内容で講義を行う予定であるが、適宜見学会、学外の専門家によるゲスト講義を開催する

- ・ イントロダクション
- ・ VRとは何か？
- ・ なぜVRか？
- ・ VRの原理
- ・ VRの構築法
- ・ VRデバイス
- ・ VRの応用
- ・ VRの今後

後半は各自(人数によっては班で)オリジナルなVRシステムを考案・発表し、ディスカッション形式の授業を行う。

【成績評価方法および評価基準】

オリジナルなVRシステムに関する発表とレポートで評価を行う。  
特に

- ・ オリジナリティ
- ・ 実現可能性
- ・ 有用性
- ・ 具体性
- ・ 先行研究の調査

等の項目を重点的に評価の対象とする。



【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

バーチャルリアリティは生理学、人間工学、機械工学、電子工学、情報工学、通信工学等様々な学問に基づいた総合領域です。また、技術だけでなく、メディアアート、ゲームなどとも深い関わりを持っています。現在の専門と直接関係なくても良いので様々な専攻の学生の受講を待っています。

電気通信大学 平成16年度シラバス

<p>関連図1</p>	<p>関連図2</p>
	
<p>関連図3</p>	<p>関連図4</p>
